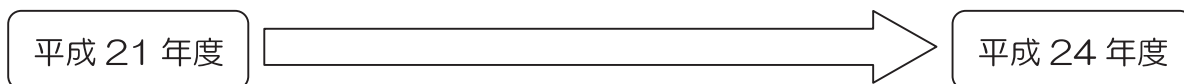


4 計画の期間

本計画の期間は、平成 21 年度から平成 24 年度までの 4 年間を計画期間とします。

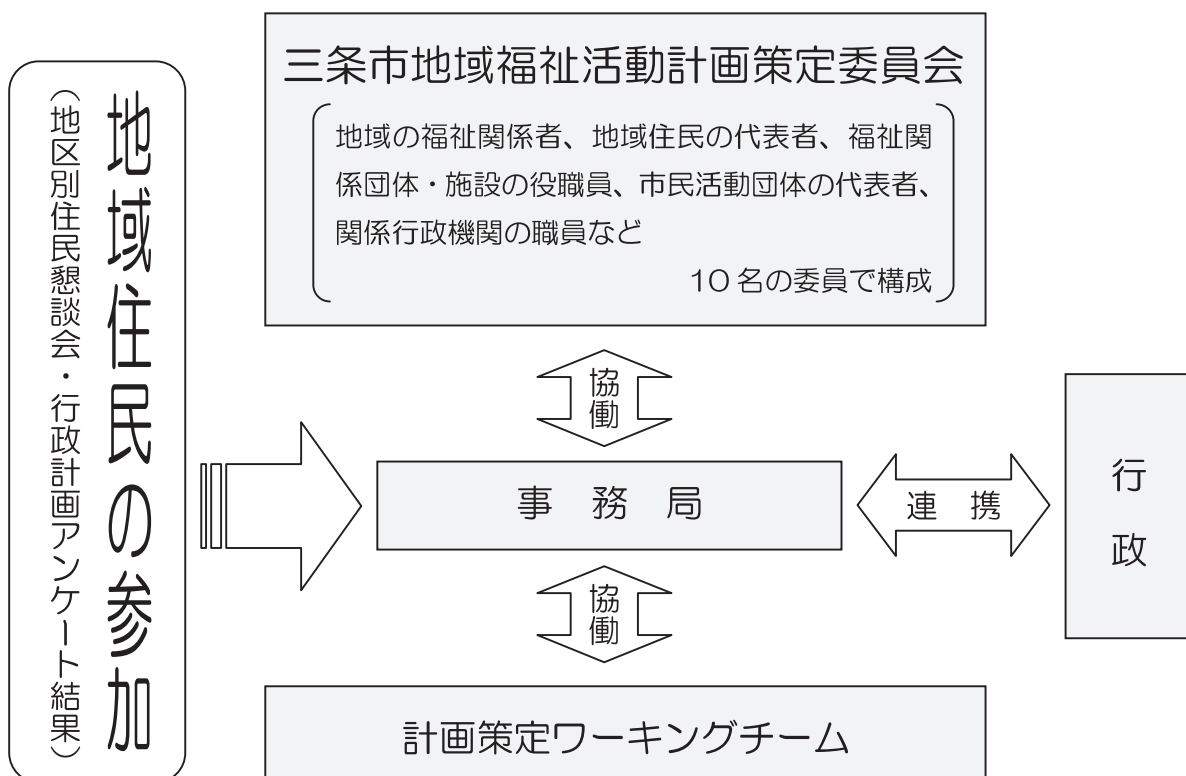


5 計画の策定体制

計画の策定にあたっては、地域住民のニーズを把握し、それらを計画に反映させる必要があります。そのため、三条市内 13 の地区において、地域住民の参加による「地区別住民懇談会」を開催し、それぞれの地域の現状と課題について、参加いただいた住民の方々と共に共有していただきました。また、行政計画において使われたアンケート調査などの結果も踏まえて策定しました。

計画策定のための組織として、地域住民の代表である自治会や地域の福祉関係者、福祉関係団体の代表などから構成される、「三条市地域福祉活動計画策定委員会」を組織し、計画の策定に関する調査、審議を行いました。

さらに、地区別住民懇談会の開催や結果集約・課題分析、計画の素案作成など、具体的な作業を行うためのワーキングチーム（作業班）を組織し、計画策定にあたりました。



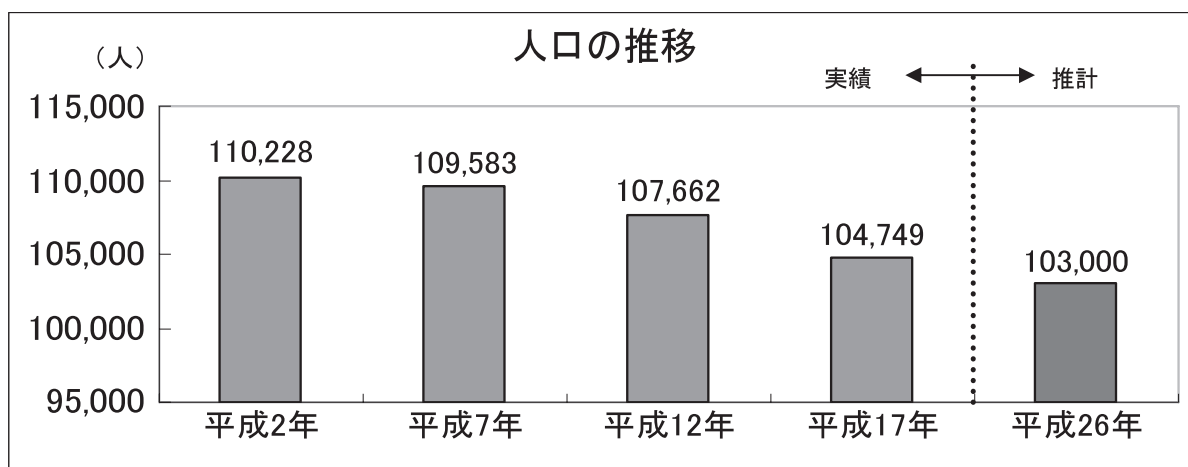
第2章 三条市の地域福祉を取り巻く現況

1 人口の現況

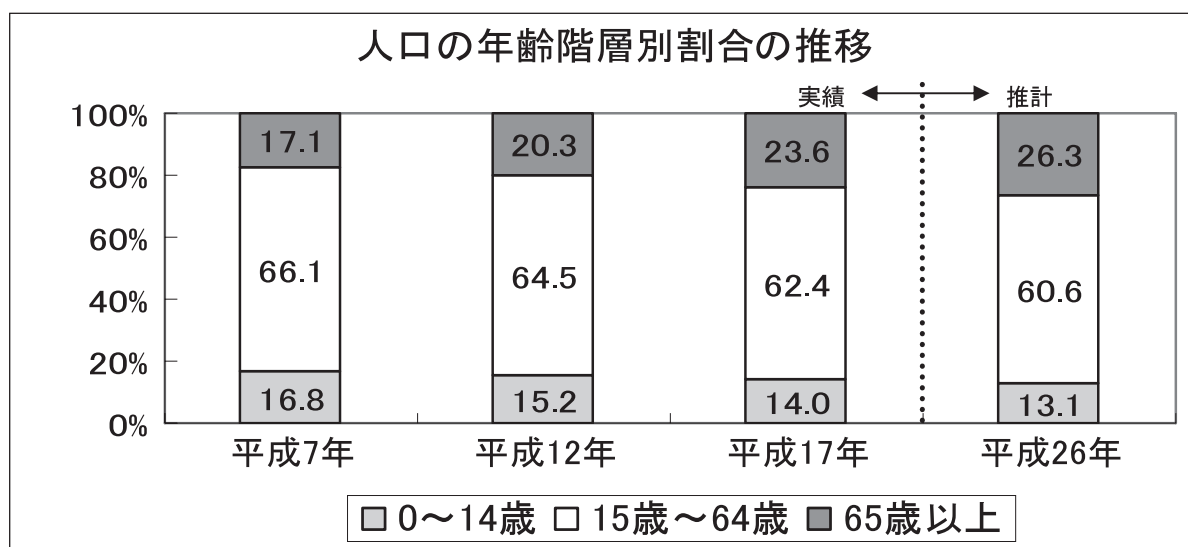
(1) 人口の推移

本市の人口は、平成2年以降、減少傾向にあり、平成17年には104,749人となっています。今後の推計では平成26年には103,000人とさらに減少することが予測されています。

また、年齢階層別で見ると、0～14歳以下の人口は減少傾向が続いている一方で、65歳以上の割合が平成17年時点で23%を超えました。今後の推計を見ても少子高齢化がさらに進行するものと考えられます。



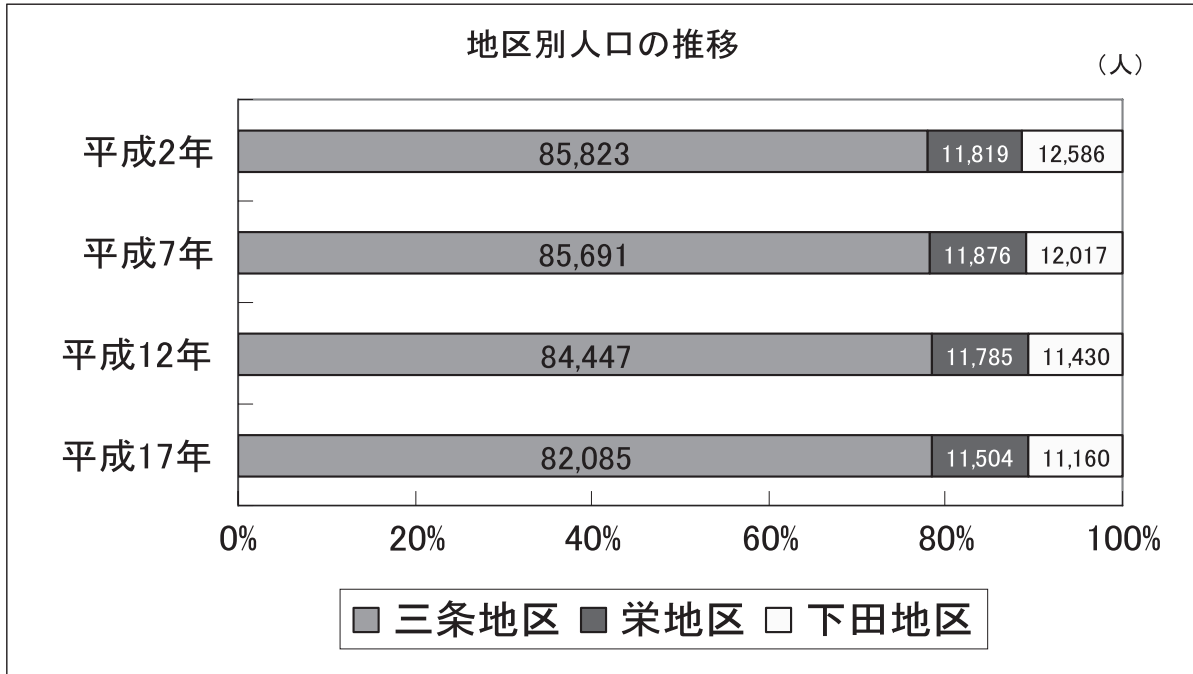
資料：国勢調査（実績部分）各年10月1日現在



資料：国勢調査（実績部分）各年10月1日現在

(2) 地区別人口の推移

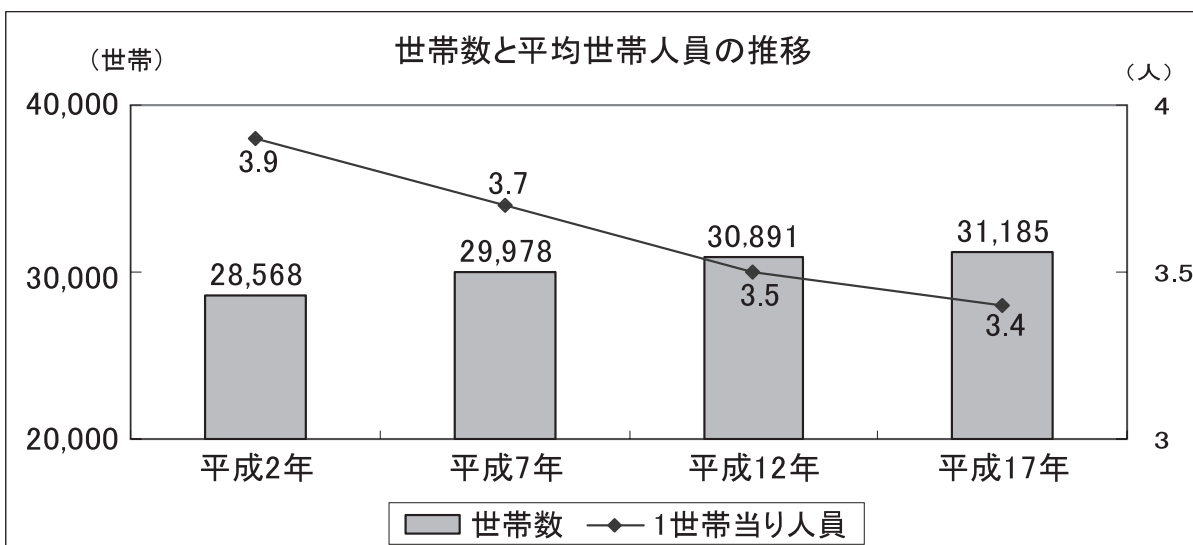
本市の地区別人口は、三条地区が約8割を占め、栄、下田地区がそれぞれ約1割となっています。また、栄地区の減少割合が比較的少ない傾向にあります。



資料：国勢調査 各年10月1日現在

2 世帯の現況

本市の世帯数は増加傾向にあり、平成12年には30,000世帯を超えましたが、一方で平均世帯人員は年々減少しており、核家族化の傾向がさらに強くなっています。

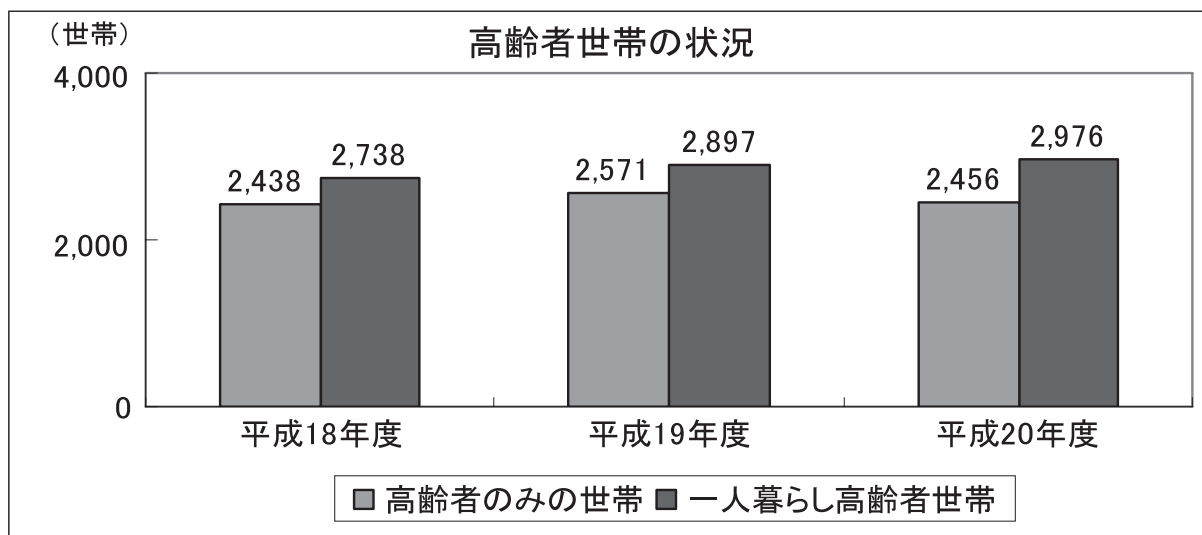


資料：国勢調査 各年10月1日現在

3 高齢者の現況

(1) 高齢者世帯の推移

核家族化の増加と同様に、一人暮らし高齢者の世帯も増加傾向にあります。



資料：住民基本台帳 各年度4月1日現在

(2) 要介護、要支援認定者の推移

本市の要介護、要支援認定者数は、高齢者人口の増加に伴い、年々増加しています。平成15年度から平成19年度の伸び率は17.2%で、要介護度別で見ると、要介護3の伸びと要支援1から要介護1までの伸びが大きくなっています。

区分	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	認定者数	構成比	認定者数	構成比	認定者数	構成比	認定者数	構成比	認定者数	構成比
要介護認定者数(人)	3,687	100.0	4,015	100.0	4,250	100.0	4,251	100.0	4,322	100.0
要支援(人)	330	8.9	363	9.0	410	9.6				
要支援1(人)							575	13.5	595	13.8
要支援2(人)							501	11.8	532	12.3
要介護1(人)	1,013	27.5	1,203	29.9	1,316	31.0	509	12.0	547	12.6
要介護2(人)	689	18.7	658	16.4	647	15.2	723	17.0	725	16.8
要介護3(人)	558	15.1	621	15.5	611	14.4	686	16.1	751	17.4
要介護4(人)	523	14.2	577	14.4	672	15.8	658	15.5	607	14.0
要介護5(人)	574	15.6	593	14.8	594	14.0	599	14.1	565	13.1

資料：市高齢介護課 各年度3月31日現在